



2019年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月12日

上場会社名 第一カッター興業株式会社
 コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正光
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理課長 (氏名) 木暮 恵介
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0467-85-3939

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	3,546	5.8	384	2.1	407	3.4	281	16.8
2018年6月期第1四半期	3,764	27.5	376	19.9	393	20.2	241	8.1

(注)包括利益 2019年6月期第1四半期 301百万円 (17.4%) 2018年6月期第1四半期 256百万円 (10.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	49.46	
2018年6月期第1四半期	42.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第1四半期	12,268	9,980	78.2	1,684.79
2018年6月期	12,707	9,822	74.3	1,659.36

(参考)自己資本 2019年6月期第1四半期 9,589百万円 2018年6月期 9,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		25.00	25.00
2019年6月期					
2019年6月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2018年6月期期末配当の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,293	9.7	961	12.5	986	13.6	608	16.0	106.95
通期	14,318	12.1	1,624	25.7	1,667	26.3	1,014	31.8	178.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]7ページ「2サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期1Q	6,000,000 株	2018年6月期	6,000,000 株
2019年6月期1Q	308,332 株	2018年6月期	308,332 株
2019年6月期1Q	5,691,668 株	2018年6月期1Q	5,691,740 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の各種政策の効果もあって企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、個人消費や輸出も堅調に伸びたことから緩やかな回復基調で推移しました。

国内建設市場におきましては、公共投資の下支えに加えて、堅調な企業収益を背景とした設備維持・更新のための民間投資によって、建設需要は底堅く推移しました。しかしながら、今後も引き続き、逼迫した労働市場を原因とした人件費の上昇や建設資材をはじめとする材料費の上昇による建設コストの増大には十分留意していく必要があります。

このような状況下で当社グループは、切断・穿孔工事事業、ビルメンテナンス事業、リユース・リサイクル事業の全ての事業において積極的な営業活動を展開しましたが、切断穿孔工事事業の完成工事高が前年同期比で減少したため、当四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は3,546百万円（前年同期比5.8%減）となりました。一方、個々の案件ごとの利益率が上昇した結果、完成工事総利益が前期比で増加しているため、利益面に関しては営業利益384百万円（前年同期比2.1%増）、経常利益407百万円（前年同期比3.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益281百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、年間を通じて売上高は第2四半期（10月～12月）・第3四半期（1月～3月）に集中する傾向にあり、それに比して第1四半期（7月～9月）・第4四半期（4月～6月）の売上高は減少する傾向にあります。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま

す。セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

(切断・穿孔工事事業)

高速道路・橋梁改修工事や空港関連工事の営業強化に努めてまいりましたが、首都圏における民間工事受注量が減少した結果、完成工事高は2,852百万円（前年同期比10.7%減）となりました。また、個々の案件ごとの収益性は改善したものの、営業体制強化により販売管理費が増加した結果、セグメント利益は530百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に高層マンション等新規案件の開拓に努めてまいりました。その結果、完成工事高は84百万円（前年同期比20.4%増）となりました。また、完成工事高の増加に伴い、セグメント利益も11百万円（前年同期比200.5%増）となりました。

(リユース・リサイクル事業)

リユース・リサイクル事業につきましては、引き続き中古スマートフォン等の販売に係る新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、商品売上高は609百万円（前年同期比22.0%増）となりましたが、セールスマックスの変化や組織体制強化を目的とした人件費の増加により、セグメント利益は4百万円（前年同期比75.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ438百万円減少し、12,268百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ596百万円減少し、2,288百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ157百万円増加し、9,980百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は78.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期の業績予想につきましては、2018年8月13日に発表いたしました「2018年6月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,322,484	4,985,150
受取手形・完成工事未収入金	2,630,776	2,453,311
売掛金	221,964	164,241
未成工事支出金	208,302	202,517
商品	38,164	43,161
材料貯蔵品	119,329	120,141
その他	109,239	144,934
貸倒引当金	△10,713	△9,908
流動資産合計	8,639,546	8,103,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,135,740	1,137,327
減価償却累計額	△343,115	△356,177
建物及び構築物(純額)	792,625	781,150
機械装置及び運搬具	2,968,891	3,042,228
減価償却累計額	△2,341,313	△2,398,976
機械装置及び運搬具(純額)	627,577	643,251
工具、器具及び備品	83,615	87,017
減価償却累計額	△61,252	△62,962
工具、器具及び備品(純額)	22,363	24,054
土地	1,657,872	1,675,004
リース資産	26,543	26,543
減価償却累計額	△14,075	△15,278
リース資産(純額)	12,467	11,265
建設仮勘定	—	6,760
有形固定資産合計	3,112,906	3,141,486
無形固定資産		
のれん	18,425	13,818
その他	109,847	96,009
無形固定資産合計	128,272	109,828
投資その他の資産		
投資有価証券	365,967	483,888
繰延税金資産	223,994	225,956
その他	239,580	205,890
貸倒引当金	△2,650	△1,787
投資その他の資産合計	826,891	913,948
固定資産合計	4,068,071	4,165,263
資産合計	12,707,617	12,268,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	558,039	469,826
買掛金	238,826	156,924
1年内返済予定の長期借入金	18,536	13,900
リース債務	4,604	4,221
未払法人税等	515,021	145,121
賞与引当金	59,829	211,554
その他	865,072	749,396
流動負債合計	2,259,929	1,750,945
固定負債		
長期借入金	11,275	8,175
リース債務	8,977	8,094
役員退職慰労引当金	246,925	176,340
退職給付に係る負債	357,850	344,922
固定負債合計	625,028	537,533
負債合計	2,884,957	2,288,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	462,044	462,044
利益剰余金	8,658,309	8,796,300
自己株式	△122,364	△122,364
株主資本合計	9,468,288	9,606,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	6,047
退職給付に係る調整累計額	△23,776	△23,086
その他の包括利益累計額合計	△23,776	△17,039
非支配株主持分	378,148	391,094
純資産合計	9,822,659	9,980,335
負債純資産合計	12,707,617	12,268,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
売上高		
完成工事高	3,264,904	2,937,532
商品売上高	499,731	609,424
売上高合計	3,764,635	3,546,957
売上原価		
完成工事原価	2,295,930	1,934,434
商品売上原価	419,098	535,587
売上原価合計	2,715,028	2,470,022
売上総利益		
完成工事総利益	968,974	1,003,098
商品売上総利益	80,633	73,836
売上総利益合計	1,049,607	1,076,934
販売費及び一般管理費	672,686	692,123
営業利益	376,921	384,811
営業外収益		
受取利息	36	22
受取配当金	5	6,001
受取保険金	3,630	2,655
持分法による投資利益	5,017	9,129
雑収入	12,403	7,216
営業外収益合計	21,092	25,025
営業外費用		
支払利息	512	296
売上債権売却損	92	36
支払補償費	—	2,179
雑損失	3,859	321
営業外費用合計	4,464	2,834
経常利益	393,549	407,002
特別利益		
固定資産売却益	287	83
保険解約返戻金	—	18,168
特別利益合計	287	18,252
特別損失		
固定資産売却損	—	8
固定資産除却損	8,808	3,350
特別損失合計	8,808	3,358
税金等調整前四半期純利益	385,028	421,896
法人税等合計	128,700	126,878
四半期純利益	256,327	295,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,246	13,534
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,081	281,482

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	256,327	295,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	6,047
退職給付に係る調整額	636	690
その他の包括利益合計	636	6,737
四半期包括利益	256,963	301,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,717	288,220
非支配株主に係る四半期包括利益	15,246	13,534

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項は有りません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項は有りません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。